

病害虫発生予察情報

2 月月報

平成 29 年 3 月 16 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2017 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	10.7	0.9	0.2	1.0	5.4	1.0	6.0	45	69.7	115
中旬	13.2	2.9	-1.2	-1.3	6.1	1.0	7.5	31	81.3	136
下旬	11.7	0.7	2.9	2.2	7.0	1.3	0.0	0	57.2	116
平均	11.9	1.6	0.4	0.4	6.1	1.1				
合計							13.5	25	208.2	123

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上・中・下旬とも高かった。
- ◎ 降 水 量：上旬は平年並、中・下旬は少なかった。
- ◎ 日照時間：上旬は多く、中旬はかなり多く、下旬は平年並だった。

上旬：冬型の気圧配置となったり、高気圧に覆われるなどにより晴れの日が多くなったが、期間の中頃と終わりには低気圧や前線の影響で曇りや雨又は雪の日もあった。

中旬：期間の前半は冬型の気圧配置となったり、高気圧に覆われて晴れたが、期間の後半は、低気圧からのびる前線が通過したため雨やみぞれの日があった。なお、17 日はサハリン付近にある低気圧が発達しながら北東に進んだため、南よりの風が強まって気温が上昇し、関東地方で「春一番」が吹いた。

下旬：期間の前半は低気圧や前線の影響で雨やみぞれとなる日もあったが、期間の後半は移動性の高気圧に覆われ晴れる日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成・加温半促成のトマトや促成のイチゴの生育はおおむね順調であった。トマト、ナスなど果菜類の育苗はおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育はおおむね順調であった。コマツナはとう立ちが早い傾向であった。タマネギの生育は乾燥の影響により停滞ぎみであった。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設、露地トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかったが、一部圃場で多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

青ヶ島：フェニックス・ロベレニー及び樹木類でイラガ類の発生が多かった。

小笠原：トウガラシ類でコナジラミ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

(下記アドレスに移転しました。)

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。